

事務事業名	英語教育推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	学校教育課	H29係等名	学務係	H28担当課等名	学校教育課	
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり			
	施策	22	義務教育の充実			
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校児童生徒			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	中学生には英語による外国人とのコミュニケーション能力の向上、小学生には、国際感覚と、外国語の必要性を認識する動機づくり			中学校生徒数	3018
	向上させたい上位施策の成果指標	市内児童生徒の基礎学力の水準			小学校児童数	5554
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	英語指導助手の中学校英語授業時数の割合		20	20	20
	成果指標	英語指導助手の小学校外国語活動(5・6年)の1クラス当りの年間参加時数		25	25	25
定性目標						
事業概要	小中学校に外国籍の英語指導助手を配置し、小学校では外国語活動を、中学校では英語教育を推進する。					
	1 児童生徒に生きた英語を学ばせることで英語でのコミュニケーション能力を身につける。 2 外国人との交流機会による国際感覚を育成する。					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 中学校に英語指導助手6名を配置する。小学校には、2名の英語指導助手を月2回程度派遣する。 (1)外国語活動の時間に担任教諭とTT(team teaching)を実施する (2)外国語活動用教材の研究を行い、充実を図る			1 英語指導助手配置数(小・中)		1 8人
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		32,190	32,653	31,721	0	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源		32,190	32,653	31,721		
人件費計(千円)②		429	715	715	0	
正規職員所要時間		120	200	200		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		32,619	33,368	32,436	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	英語指導助手を派遣することで、日本人教員では行うことができない国際理解の促進や、自らコミュニケーションをとろうとする姿勢を育むことができた。					
改革改善の考え方	①問題点	学習指導要領改訂(小学校英語の拡大)に向けた対応が必要である。				
	②改革提案	校長会主導委員会 小学校英語準備委員会を中心に検討を進める。				